

地域密着型金融の取組状況（2022年4月～2023年3月）  
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2022年度中の結果報告
1. 創業・新事業開拓支援	創業応援セミナーの開催	<p>当金庫と鎌倉商工会議所が共催して創業セミナーを開催しました。講師には、数多くの中小企業支援実績のある「神奈川県よろず支援拠点」から各分野の専門家を迎えました。また、特別講師として当金庫取引先の代表者をお招きし、創業時のエピソード等の貴重なお話を聞かせていただきました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講義は全てオンライン形式で実施しました。</p>
	「事業再構築補助金」申請支援	<p>ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、経済社会の変化に対応するために、新たな取組みに挑戦する事業者を応援しています。特に「事業再構築補助金」の申請に力を入れ、2022年度は77件支援を行い、43件採択することができました。</p>
2. 成長段階企業支援	脱炭素化に向けた支援	<p>日本政策金融公庫との協調融資スキーム「グリーン・パートナーズ湘南」の取扱いを開始するとともにe-dash(株)と連携し、CO<sub>2</sub>排出量の削減や省エネルギー化等の脱炭素化に取り組む事業者を積極的に応援しています。2050年のカーボンニュートラル達成を目指して、地域の皆さまと共に脱炭素化への取組みを推し進め、持続可能な社会の実現に努めていきます。</p>
	「インボイス制度」セミナーの開催	<p>2023年10月から導入される「インボイス制度」のセミナーを開催しました。同制度は消費税が免税の方を含め全ての事業者に影響があり、経理や請求書発行業務等のあり方が大きく変化します。セミナーでは、制度のポイントや対応方法についてわかりやすく解説し、参加者から多くの質問をいただきました。</p>

地域密着型金融の取組状況（2022年4月～2023年3月）  
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2022年度中の結果報告
	食品製造工場新設に伴う各種支援	<p><b>【取組みに至った経緯】</b> 支援事業者は主に中華食品を製造し飲食店等に販売しています。中堅商品メーカーからのOEM生産も受注していますが、昨今の中食需要の拡大により受注量が大幅に増加したため、食品製造工場の新設を検討することとなり、条件に合う工場用地の紹介や取得資金の融資について当金庫に相談がありました。</p> <p><b>【取組み内容】</b> 新工場の用地として、横須賀市内の物件を当金庫から紹介しました。紹介した物件は、横須賀市の「企業立地促進制度」の対象地域に指定されており、事業計画書を作成・提出することにより、5年間の税制優遇が受けられることから、計画書作成を支援しました。工場の新設に当たっては、ガスプラント工事が必要となったため、当金庫取引先の事業者を紹介しました。また、物件取得や工事費用、製造設備の取得資金を応需しました。</p> <p><b>【今後の予定】</b> 横須賀市の企業立地促進制度を活用したことにより、5年間の税制優遇制度の適用が受けられる見通しとなりました。今後は、横須賀市内の農水産事業者等とのビジネスマッチングや地域での雇用の拡大が見込まれ、地域経済の活性化が期待されます。</p>
3. 経営改善支援	専担部署による集中支援体制	<p>当金庫では、お取引先の経営改善を支援するための専担部署を設置しています。同部署では、営業店との連携に加え、税理士・公認会計士等の外部専門家や信用保証協会・政府系金融機関等の外部機関とも連携し、支援活動を行っています。</p> <p>特に支援の必要性が高いお取引や経営改善支援先と定め、業況の把握や資金繰り相談のほか、ビジネスモデルの再構築や財務基盤の改善に対する助言、定期的なモニタリングによる伴走支援に取組むなど、アフターコロナ・物価高騰等を踏まえた支援を行っています。</p>

地域密着型金融の取組状況（2022年4月～2023年3月）  
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2022年度中の結果報告
	事業計画策定支援	<p><b>【取組みに至った経緯】</b> 支援事業者は宿泊業を営んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響によって、宿泊数が激減していました。また、赤字決算により自己資本も大幅に減少していました。2022年5月にコロナ関連融資を実行し、2年超の元金据置など金融支援を実施したことにより、事業を継続することができたが、これ以上赤字が続くと実質債務超過に転落する恐れがあったことから、資本性ローンによる資本増強の検討を開始しました。</p> <p><b>【取組み内容】</b> 当金庫は事業計画の策定を支援し、日本政策金融公庫・信金キャピタル株式会社に資本性ローンを打診しました。日本政策金融公庫の資本性ローンは、民間金融機関が協調で新規貸出を行うことが要件であることから、当金庫も資金応需しました。また、既存借入金の返済正常化も要件であったことから、返済再開に向け、返済条件等を日本政策公庫と調整し、2022年10月から既存借入金の返済を再開しました。</p> <p><b>【今後の予定】</b> 2023年度中に資本性ローンを実行し、資本増強を図っていきます。</p>
4. 事業承継支援	「しょうなん経営塾」を通じた若手経営者の育成	<p>次世代の中小企業経営者育成を目的としている「しょうなん経営塾」の第16期は2022年4月に31人でスタートし、受講生全員が修了式を迎えました。経営者に必要な知識を体系的に学ぶだけでなく、ビジネスチャンスを得る異業種交流の場としてご活用いただいています。</p>
5. 地域の面的再生への参画	Yokosuka 海道ウォークへの協力	<p>三浦半島の活性化を目的として2013年から開始されたYokosuka 海道ウォークが3年ぶりに開催され、約1,600人が参加しました。当金庫の職員はボランティアスタッフとして、スタート時点の受付、歩行道路の誘導員等のイベント運営に協力しました。</p>

地域密着型金融の取組状況（2022年4月～2023年3月）  
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2022年度中の結果報告
	お土産開発事業への協力	<p><b>【取組みに至った経緯】</b> 横須賀市は、観光産業の活性化に力を入れていますが、海軍カレー以外に定番のお土産といえる商品が無いことに課題を感じていました。そこで、横須賀市や当金庫、観光協会、商工会議所が連携しておみやげコンテストを開催することになりました。本取組みは、令和2年度に信金中央金庫が実施した企業版ふるさと納税の仕組みを活用した地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」に、横須賀市と当金庫の連名で応募し採択されたことをきっかけに開始したもので、財源を信金中央金庫からの寄付金1,000万円としています。</p> <p><b>【取組み内容】</b> 本取組みには、横須賀市・当金庫だけでなく、商工会議所や観光協会といった地域の関係団体も参画しています。当金庫は、中小企業診断士有資格者の職員を審査員として派遣、お土産開発費用の資金サポート、事業化にあたってのアドバイス、取引先企業とのマッチングといった役割を担っています。2022年度は第2回大会を実施し、横須賀市内外を問わず、全国から100件を超える応募があり、最終的に7件の入賞作品を決定しました。結果として横須賀市に対する注目度を高めることができました。また、入賞作品の販売会を横須賀市内の商業施設で実施し、地域住民や観光客に手に取ってもらう機会を設けることができました。</p> <p><b>【今後の予定】</b> 3年間で達成すべき目標として、①新規開発・リニューアルした商品数6件、②商品の売上額270万円/月、③経済波及効果419万円/月を掲げています。①新規開発・リニューアルした商品数については、第1回・2回合計で9件が既に商品化しています。②の売上高や③の経済波及効果を達成するには、販路開拓やPR活動の支援等、今後も連携先全体で支援を継続していく必要があります。</p>